

リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会

平成30年度総会並びに建設促進要望活動

平成30年9月19日（水）JPタワーホール&カンファレンスにおいて、沿線9都府県の経済団体で構成する「リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会」（会長：山本亜土）の平成30年度総会が開催されました。当会からは岡本直之三重県商工会議所連合会会長（津商工会議所会頭）、田中彩子副会長（鈴鹿商工会議所会頭）、田山雅敏副会長（上野商工会議所会頭）、岩佐憲治副会長（亀山商工会議所会頭）ほか多数の関係者にご参加いただきました。



▲森事務次官に要望を行なう岡本会長（左から3番目）、岩佐副会長（右端）

総会では、平成29年度事業報告並びに収支決算、平成30年度事業計画並びに収支予算について審議され、それぞれ承認されました。

総会決議では、1. 東京・名古屋間の早期整備、2. 技術開

発等による大幅なコストダウンと一日も早い全線開業のための方策を示すこと、3. 名古屋・大阪間の概略ルート及び駅の概略位置の早期公表と環境影響評価の手続き着手、4. ターミナル駅の交通アクセス、周辺まちづくりに早い段階からの検討協議、5. 大深度地下使用等行政手続きの円滑化、6. 駅位置やまちづくり等における地域意向の反映、を要望していくことを決議いたしました。

総会終了後には、決議された要望書を持参し、岡本会長、岩佐副会長を始めとする関係者21名で国土交通省を訪問し、森昌文国土交通事務次官、菊池身智雄技監、青木由行都市局長、蒲生篤実鉄道局長に対して、建設促進の要望活動を行いました。



▲菊池技監に要望を行なう岡本会長（左から4番目）、岩佐副会長（同3番目）